

御存じですか？

農業でのGAP

GAPとは、「Good」な農業の取組のことです。

食の安全

GAPで、
安全な農産物を
作るまる♪♪

GAPで、
安全に作業をする
まる♪♪

労働安全

環境保全

GAPで、
環境に配慮した
農業をするまる♪♪



とちまるくん

GAPには
いろいろあるまる♪♪
・とちぎGAPの
第三者確認
・GLOBALG.A.P.
・JGAP
・ASIAGAP

GAPの種類

栃木県

GAPの取組

GAP(ギャップ Good Agricultural Practice)で、
消費者・環境・生産者にとって
「Good」な農業をめざします。

	食の安全	環境保全	労働安全
取組内容	安全な農産物の生産 <ul style="list-style-type: none"> 衛生管理（病原微生物による農産物汚染防止） 農薬の正しい使用 異物の混入防止 など 	生物多様性への配慮 <ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化ガスの発生抑制 農薬や肥料による環境負荷低減 燃料の流出防止 廃棄物の適正処理 など 	農作業での事故防止 <ul style="list-style-type: none"> 危険な作業への対応 機械や設備の点検整備 作業安全用の保護具の着用 新型コロナ対策 など
例	 <p>清潔な作業場所</p>	 <p>燃料の流出防止</p>	 <p>草刈り機での事故防止</p>

GAPの取組の種類

第三者機関の審査によりGAPが正しく実施されていることが確認された取組（GAP認証等）の種類です。

2020年東京オリンピック・パラリンピックでは、選手村などで提供される料理に、GAP認証等の農産物がつかわれます。

	とちぎGAPの 第三者確認	GLOBALG.A.P.	JGAP	ASIAGAP
運営主体	栃木県 (平成30年度から開始)	FoodPlusGmbH [ドイツ] ※国際標準として 世界で最も普及している	(一財) 日本 GAP協会 [日本]	(一財) 日本 GAP協会 [日本] ※国際標準 (平成30年10月取得)
県内での取組経営体数	192 (R3(2021)年1月)	12 (R3(2021)年1月)	32 (R3(2021)年1月)	2 (R3(2021)年1月)

※国際標準：GFSI（世界食品安全イニシアティブ）による承認